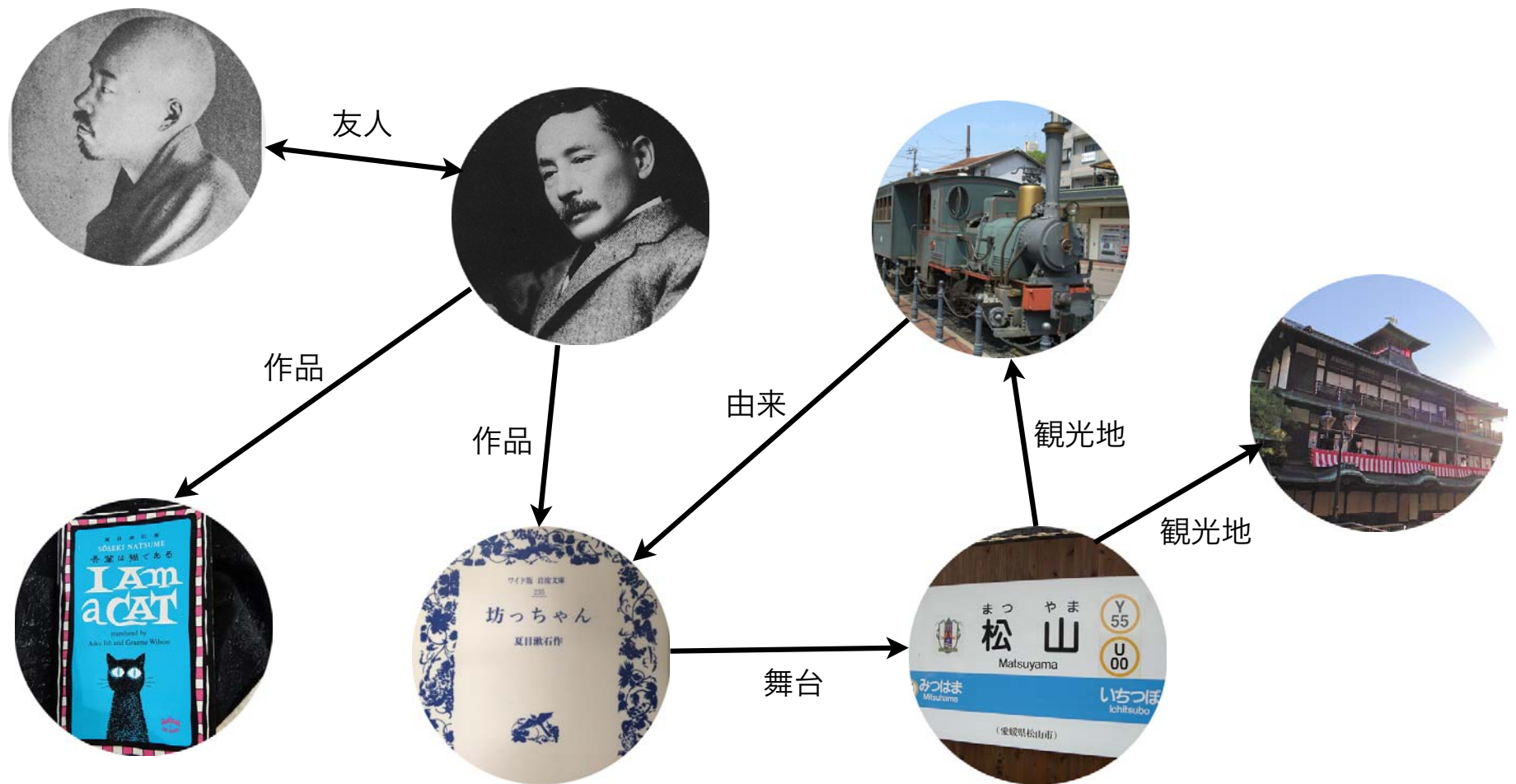


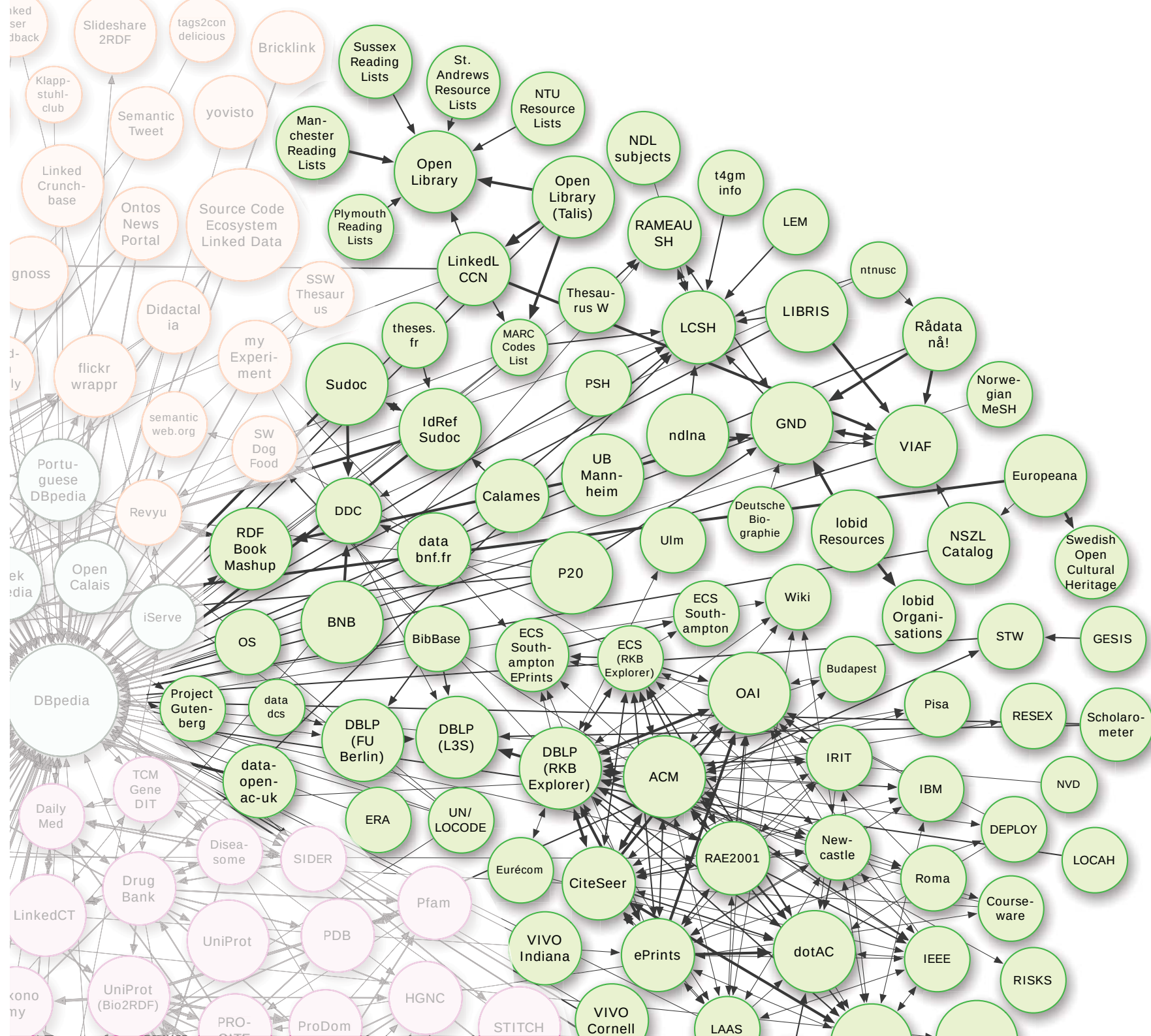
Linked Open Data (LOD) のご紹介

情報・システム研究機構 新領域融合研究センター
国立情報学研究所 特任研究員
加藤 文彦

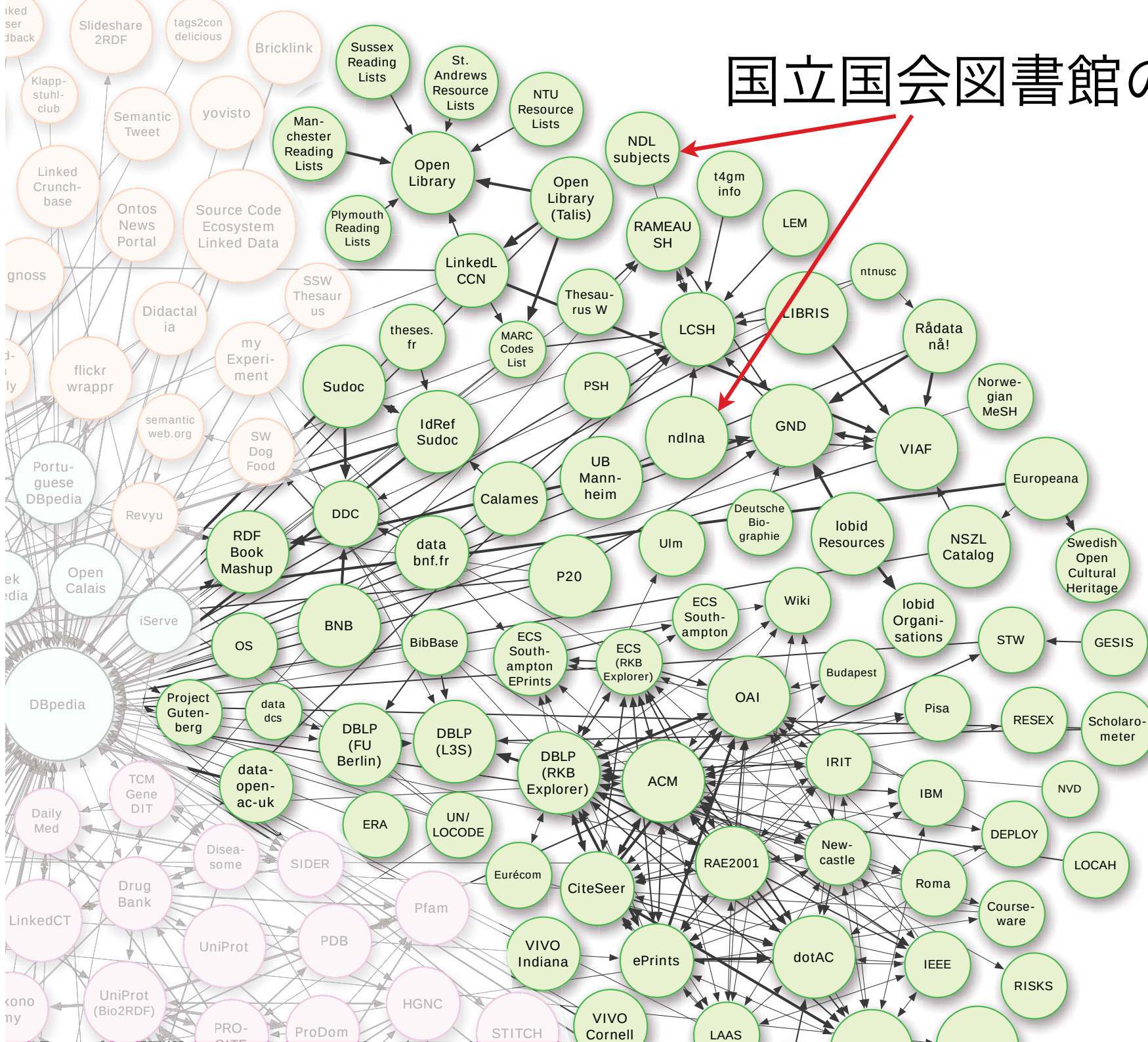
第13回図書館総合展

LOD?





国立国会図書館のデータ



Web NDL Authorities (開発版)

国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

キーワード検索

分類記号検索

検索語を入力してください

検索

☒ すべて ☐ 名称のみ ☐ 普通件名のみ

Web NDL Authoritiesは、国立国会図書館で作成し、維持管理する典拠データを一元的に検索・提供するサービスです。当サービスでは、計1,053,600レコード（14,943,278トリプル）の典拠データの検索等が可能です。サービスの概要については、「[Web NDL Authoritiesについて](#)」をご覧ください。Web NDL Authoritiesは、本格サービス開始（平成23年12月予定）まで試行サービスを行っています。提供しているのは2011年4月1日現在のデータです。試行サービス期間中は、データ更新を行いませんのでご了承ください。

最新のお知らせ

- [サービス一部停止のお知らせ（2011/10/31～2011/11/6までの一部時間帯）](#)（2011年10月31日）
- [サービス停止のお知らせ（2011/10/1～2011/10/16）](#)（2011年9月14日）
- [「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（Web NDL Authorities）開発版」を公開しました](#)（2011年7月7日）

RDFモデルについて

[1. 典拠データのRDFモデルについて](#) | [2. 記述に使用する語彙](#) | [3. 読みの表現](#) | [4. RDF/XML形式によるフォーマット仕様](#)

1. 典拠データのRDFモデルについて

1-1. 個人名・家族名・団体名

典拠データのうち、個人名・家族名・団体名については、典拠を維持管理するための情報（典拠情報）と、その典拠によって記述される対象（名称実体）の2レベルでモデルを構成しています。これは、個人名・家族名・団体名の典拠データで記述される名称実体が、Agentクラスを値域とするdcterms:creatorのインスタンスとして使用され、典拠情報とは別に名称実体そのものの識別子等の情報が必要であると考えられるためです。

典拠情報と名称実体は「名称実体は典拠情報の主トピック（foaf:primaryTopic）である」という関係によって結びつけます。

標目「夏目, 漱石, 1867-1916」の典拠データ（典拠ID：00054222）は、RDF（Turtle形式）では以下のとおり表現されます。

```
@prefix rdf: <http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#>.
@prefix rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>.
@prefix owl: <http://www.w3.org/2002/07/owl#>.
@prefix skos: <http://www.w3.org/2004/02/skos/core#>.
@prefix xl: <http://www.w3.org/2008/05/skos-xl#>.
@prefix rda: <http://RDFVocab.info/ElementsGr2/>.
@prefix frbrrent: <http://RDFVocab.info/uri/schema/FRBRrentitiesRDA/>.
@prefix foaf: <http://xmlns.com/foaf/0.1/>.
@prefix ndl: <http://ndl.go.jp/dcndl/terms/>.
@prefix dct: <http://purl.org/dc/terms/>.

<http://id.ndl.go.jp/auth/ndlna/00054222>
  foaf:primaryTopic <http://id.ndl.go.jp/auth/entity/00054222>;
  dct:modified "2010-08-03T10:44:00";
  dct:created "1979-04-01";
  xl:prefLabel [xl:literalForm "夏目, 漱石, 1867-1916";ndl:transcription "ナツメ, ソウセキ, 1867-1916"@ja-Kana,"Natsume, Soseki, 1867-1916"@ja-Latn];
  rdfs:label "夏目, 漱石, 1867-1916".
```

Web NDL Authoritiesについて

[Web NDL Authoritiesについて](#)

[機能説明](#)

[RDFモデルについて](#)

[SPARQLについて](#)

[一括ダウンロード用ファイル](#)

[Web NDLSHからの変更点](#)

[利用条件](#)

[ヘルプ](#)

[お問い合わせ](#)

最新のお知らせ

[サービス一部停止のお知らせ](#)

(2011/10/31～2011/11/6までの一部時間帯)

[サービス停止のお知らせ](#)

(2011/10/1～2011/10/16)

「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（Web NDL Authorities）開発版」を公開しました

過去のお知らせ

月を選択 

Library Linked Data Incubator Group Final Report

W3C Incubator Group Report 25 October 2011

This Version:

<http://www.w3.org/2005/Incubator/llid/XGR-llid-20111025/>

Latest Published Version:

<http://www.w3.org/2005/Incubator/llid/XGR-llid/>

Authors

Thomas Baker, Dublin Core Metadata Initiative, US (W3C Invited Expert)

Emmanuelle Bermès, Centre Pompidou, France (W3C Invited Expert)

Karen Coyle, Consultant, US (W3C Invited Expert)

Gordon Dunsire, Consultant, UK (W3C Invited Expert)

Antoine Isaac, Europeana and Vrije Universiteit Amsterdam, Netherlands

Peter Murray, LYRASIS, US (W3C Invited Expert)

Michael Panzer, OCLC Online Computer Library Center, Inc., US

Jodi Schneider, DERI Galway at the National University of Ireland, Galway, Ireland

Ross Singer, Talis Group Ltd, UK

Ed Summers, Library of Congress, US

William Waites, University of Edinburgh (School of Informatics), UK

Jeff Young, OCLC Online Computer Library Center, Inc., US

Marcia Zeng, Kent State University, US (W3C Invited Expert)

CiniiのAPI(2)－論文詳細表示のRDFについて

[OpenURL 受信機能について](#) | [OpenURL 送信機能について](#) | [CiniiのAPI\(1\)－論文検索のOpenSearchについて](#) | [CiniiのAPI\(2\)－論文詳細表示のRDFについて](#) | [CiniiのAPI\(3\)－著者検索のOpenSearchについて](#) | [CiniiのAPI\(4\)－著者詳細表示のRDFについて](#) | [API利用登録](#)

RDFとは

Ciniiでは、論文詳細表示画面の内容をRDF(※)で出力できます。ここでは、RDFのフォーマット仕様について説明します。

※Resource Description Frameworkの略。詳細は以下のサイトをご参考してください。

<http://www.w3.org/RDF/>

RDFでは、論文名、著者名などの各項目が、Dublin Coreなどのメタデータの標準的な記述仕様で構造化され、XMLで出力されますので、Ciniiのデータをさまざまな用途に使用することができます。

A 論文詳細表示画面をRDFで出力する

1. 論文詳細表示画面を表示させます。

**情報爆発時代の研究基盤構想：データマイニング、次世代サーチなどの研究(「自動化:推論,発見,学習,データマイニング」及び一般)**
Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era

**安達 淳**
ADACHI Jun
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

▼参考文献: 1件

本文を読む/探す

[Cinii PDF](#) [Cinii 論文PDF - 定額アクセス可能](#) [Webcat Plus](#) [Webcat Plus刊行物・所蔵情報](#)
[NDL-OPAC](#) [NDL-OPAC](#)

抄録

2006年度から実質的に開始した、科研費による大規模な共同研究「情報爆発IT基盤」の概要について紹介し、何せわらって5年間に渡る研究を進めるかについて概要を述べる。

We has just started a large-scale collaborative research project which is titled "Cyber Infrastructure for Information-explosion Era" from April 2006, supported by the Grant-in-Aid for Scientific Research provided by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. In this talk, the aims and the structure of this project is outlined.

収録刊行物

**電子情報通信学会技術研究報告. AI, 人工知能と知識処理** [\[収録刊行物詳細\]](#)
電子情報通信学会技術研究報告. AI, 人工知能と知識処理 106(38), 29-32, 2006-05-11 [\[目次\]](#)
社団法人電子情報通信学会

参考文献: 1件

参考文献を見るときは[ログイン](#)が必要です。ユーザIDをお持ちでない方は[会員登録](#)してください。

プレビュー

No Preview

キーワード

[情報爆発](#)
[データマイニング](#)
[情報政策](#)
[スケーラブル計算基盤](#)
[大規模ユース](#)

>[Ciniiについて](#)

>[ご利用区分について](#)

>[マニュアル](#)

>[外部提供インターフェースについて](#)

>[FAQよくあるご質問](#)

>[著作権とリンク](#)

>[各種問い合わせ](#)

- ホーム
- 開催概要
- エントリー
- LODについて
- スポンサー
- FAQ



Open = つながる。

LODチャレンジ Japan

「Linked Open Data チャレンジ Japan 2011」では、様々な分野でLinked Open Data (LOD) の仕組み作りやデータづくりにチャレンジされている方々による活動の発表の場を提供します。作品を応募していただき、コンテスト形式で評価し合うことで、これから日本の新しい未来を創造していきましょう！

→ [開催主旨はこちら。](#)

第1回LODチャレンジデー開催決定

→ [詳細はこちらをご覧ください。](#)

応募者募集



データセット部門



アイデア部門



アプリ部門

- 応募締切: 2012年1月31日
- 受賞発表: 2012年3月8日
 - セマンティックWebコンファレンス2012
- <http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2011/>

データ提供パートナー

→ [データ提供パートナー募集について](#)

国立情報学研究所（NII）

平成21年度および平成22年度は、CiNiiウェブAPIコンテストを開催。同コンテストでも活用されてきたデータを今年度はLODチャレンジで利用できます。



NII 論文情報ナビゲータ[サイニィ]



科学研究費補助金データベース

→ [昨年度のコンテスト概要](#)

→ [データの利用方法について](#)

→ [利用規定](#)

スポンサー募集

○ Platinum sponsors ● Gold sponsors

料金(円)	300,000	30,000
ロゴ	大きい	普通
配布資料(A4枚数)	2	1
デモブース	○	○
特別賞	○	×

LODチャレンジデー

- <http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2011/challengeday.html>
- 第1回 2011年11月19日(土)
 - 場所: 国立情報学研究所
 - 内容: LODのチュートリアル
- 第2回 2011年12月3日(土)
 - 場所: 国立情報学研究所
 - 内容: アイデア部門向けグループワーク
- 第3回 2011年12月3日(土)
 - 場所: 大阪大学産業科学研究所
 - 内容: LODのチュートリアル



たくさんのご応募お待ちしております

<http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2011/>

CC Attributions

- Linking Open Data cloud diagram, by Richard Cyganiak and Anja Jentzsch. <http://lod-cloud.net/>
- Botchan Train, by Hideyuki KAMON. <http://www.flickr.com/photos/hyougushi/225213349/>
- 道後温泉本館, by titanium22. <http://www.flickr.com/photos/nagarazoku/3373798125/>
- 松山駅, by tirol28. <http://www.flickr.com/photos/tirol28/4332187664/>
- I am a cat, by Debs (òó) ♪ <http://www.flickr.com/photos/littledebbie11/4929207518/>
- 他 Public Domain